

令和2年10月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

令和2年10月のDI値は、依然として低い水準にあるものの、全9指標が前月より改善し、新型コロナウイルスの影響により悪化した景気は、全体的には上向きの傾向が見られる。

GoTo キャンペーン等、国や地域による消費喚起策の実施等により、売上が増加しているとの報告が見られるようになった一方、需要の低迷、受注の減少が続き、売上が回復しないとの報告もあるなど、業種や企業規模間で、景況感にバラつきがみられる。

新型コロナウイルスの影響により経済活動が縮小し、また、再度の感染拡大が懸念される中、来年以降の見通しが立たないとの声が多い。

山口県の主要指標 DI 値 (令和2年10月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 0.0% 悪化： 50.0% DI 値： ▲50.0% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 17.5% 減少： 52.5% DI 値： ▲35.0% ポイント










収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化： 52.5% DI 値： ▲47.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和2年10月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲44.4	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲33.3	▲50.0	0.0	▲45.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲20.0	▲100.0	▲75.0	▲72.7	▲18.2	▲28.6	▲100.0	▲53.2	▲50.0
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>GoTo キャンペーンもあり、10月に入って公共交通機関売店は6～7割回復してきた。地域共通クーポンの利用者が、コンビニやスーパーに流れることが多いようであり、制度に配慮が欲しいところである。秋芳洞は県内県外と修学旅行の誘致により賑わっている。山陽小野田市は商品券配布を全市民に行ったので、利用者が多い。</p>	<p>パン・菓子製造業 山陽小野田市</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響で、イベントが開催されなくなったことや、取引先飲食関係が未だに回復していない為、売上げが減少。</p>	<p>パン・菓子製造業 下関市</p>
	<p>9月の店舗売上合計は台風による臨時休館で営業日1日減であったものの4連休効果で対前年+17.5%と大幅に伸びた。10月は10/25時点で対前年+32.8%と更に売上増加。萩市独自のお買い物クーポンおよび GoTo トラベルの地域共通クーポンの効果が如実に現れた。（売上に占めるクーポン比率は24.2%と高い）。この調子が続くことを願うばかりであるが、今後の感染拡大とクーポンキャンペーン終了後の反動減も心配である。</p>	<p>水産食料品製造業 萩市</p>
	<p>GoTo キャンペーンのお陰で観光関係の販売が一部持ち直した状況が見られる。地場の水揚げが少なく、原料となる魚価が高い。新型コロナウイルスの影響が大きい。</p>	<p>水産食料品製造業 長門市</p>
	<p>先月とあまり変わりはない模様だが、新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和されてきた感じがする。ただし外国人技能実習生の入出国は未だに厳しい状態にあり、早く体制が整ってほしい。</p>	<p>水産食料品製造業 下関市</p>
	<p>10月は4月・5月程の売上の減少は無く若干例年に近づいているが、65%～70%である。自粛に国民の意識が慣れてきたためか本業界の伸びは現状では期待できない。お中元商戦が一段落している。GoTo トラベル・GotoEat と経済改善の政策に転換した業況把握を待つところである。先月同様、年末商戦が一つの物差しになるのではと考える。現在はお歳暮前の落ち着いた期間で前倒しの発注は来ていない。</p>	

	<p>新型コロナウイルスの自粛ムードで各種イベントが中止となり、経済活動の厳しい状況が続いている。今後は、ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行していくための中小企業向けの支援対策を早急に充実させることが必要となる。そのためには、これ以上、新型コロナウイルスが蔓延して、感染爆発をおこさないように、検査体制の拡充、クラスターの早急な把握と感染者の迅速な隔離が必要だと考える。また、今後のコロナ対策に関しては、国民の自主的なソーシャルディスタンス活動による集団免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図ることが必要となる。今年度は、中国などの大陸から稲の害虫、ウンカが多数飛来し、山口県の作況指数は、10月15日時点で、「73」と全国最低となった。コロナだけでなく、大陸から飛来する害虫対策も必要となる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>外国人技能実習生が11月～1月にかけて16名帰国予定。新型コロナウイルスの影響で、4月以降の帰国予定11名が現在まで遅延している。帰国等の緩和で帰国便の目途が立ち、11月帰国予定5名も12月、1月に帰国できる見込みとなった。</p>	下着類製造業
	<p>新型コロナウイルスの影響が出ている。受注が30%～40%低下している。インショップが苦戦、展示受注会の開催ができなければ深刻化する。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>この2～3ヶ月は生産量に大きな変動はなく、これより年末、1～3月に向け発注が多くなることを期待する。</p>	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	<p>岩国地域は新型コロナウイルスの影響はほとんど無いように思われがちだが、当建築業界は大手ハウスメーカーの仕事が多く、地方の中小木材業者には厳しい状況である。木材家屋の高値イメージを払拭するための手段が無いのが実情である。組合の売上前年比▲95%。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市
	<p>引き続き、原木不足により木材乾燥量が少ない。</p>	製材業・木製品製造業 山口市
	<p>10月の売上額の対前年同月比は平均25%程度の減少。一部の製材所で昨年と同水準を維持した所もある。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>印刷業界における受注状況は前年比で見れば減少しているものの、GoToトラベル、GoToイートキャンペーン等の政策により、チラシ、チケット等の受注が発生することで次第に改善、増加傾向にある。しかし、今後も新型コロナウイルスの感染リスクは解消したわけではなく、リスクとの共存が課題となる状況下、迅速な対応が更に重要になると思われる。</p>	印刷 下関市

	年末までに店を畳むという声も聞かれ、商店街や飲食店等からの受注も途絶え始めている。	印刷 山口市
窯業・ 土石製品	出荷量は、 (令和元年10月) 骨材 99%、路盤材 76%、再生材 79% ↓ (令和2年10月) 骨材 110%、路盤材 70%、再生材 76%	砕石製造業
	出荷量は、前月比 113%、前年同月比 86%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	昨年度、特需工事が複数あったため、今年度の売上高は減少となっている。	生コンクリート製造業 周南市
	組合員が集まることが出来ない為、情報交換等が出来ていない状況である。Facebookでの組合員の投稿によると、お墓の仕事は勿論だが、最近では新規の鳥居設置作業が多かったようだ。(2事業所で3基設置の様子。)	石工品製造業
	GoTo トラベルキャンペーンの恩恵で、先月に引き続いて市内観光客は、個人・家族での旅行者を中心に大幅に増加し、売上も前年同月を大きく上回った。団体客についても少人数ではあるが来ていただけになった。百貨店や大都市小売店、ギフト関連の受注(卸販売)も徐々に回復し、前年同月比70%~80%。小売・卸を合わせた売上では、前年と同等かそれ以上。利益率のいい小売が増えたため、収益は前年同月を大きく上回った。10月1日~31日まで萩焼まつりweb版陶器市が行われ、窯元・販売店41店舗が参加。目標売上は1千万円。残念ながら売上げは、目標の7~8割程度であった。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	外国人技能実習生が入国できないため、次回の受入れができず困っている。引き続きリモート面接をしている。	一般機械器具製造業 岩国市
	周南地区の各コンビナートで大型定期補修工事が続いている関係で、10月も組合員企業は繁忙期となっている。大型の定期補修となっている為、昨年より売上高は増加し収益もでている企業が多い模様である。しかし、10月で補修工事が終わるので、終了後を心配している。	一般機械器具製造業 下松市
	新型コロナウイルスの影響で受注が減少している模様。一部企業では9月以上に雇用調整の期間が発生している。	一般機械器具製造業 周南市

	<p>新型コロナウイルス感染者が増加している。建設関連は前月比横ばい。大手車メーカーのマツダ関連では、これまでの減産体制が影響し受注難であり、先行き不透明のままである。中国と取引のある組合員は9月以降に再受注し、当分の間、稼働率は高い。組合の景況は世界の景況に影響を受けていると言っても過言ではない。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>新型コロナウイルスの蔓延による若干の影響はあるが、一部製造業を除き、事業確保は出来ている。コロナ後を見据え実習生の増員を予定している企業もある。介護、スーパーについては人手不足感が顕著である。技能実習生の入国が出来ない状況が続いているが、帰国もできないので一定の人員の確保は出来ているが、帰国できない実習生が、企業と協議の結果、特定技能へ移行するケースも増えてきている。一方、新規受け入れ、増員の計画をしていた企業は人員確保が出来ず、早期受け入れを希望している。なお、雇用調整助成金を利用している企業で、来年度以降給付額の減額があると、満期実習生の解雇が想定されるため、各企業に継続雇用を依頼している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>新型コロナウイルスの自粛等から経済活動が再開されるも、変化は見られない。ただし予断を許さない状況に変わりはなく、体力勝負になってきている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両関係は変わりなし。半導体は良好。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。新型コロナウイルスの流行による取引各社の操業度の落ち込みにより、受注が落ち込んでいる。</p>	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	<p>10月の倉庫売上は昨年とほぼ同等であり、新型コロナウイルスの影響は受けていない。</p>	乾物卸売業
	<p>新型コロナウイルスの影響で、売上減少による資金繰りの悪化。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>令和元年10月は消費税増税後で多くの店の売上が悪化していたが、本年は新型コロナウイルスの影響があるものの、前年以上の売上が出ている店の方が多かった。これから寒くなってくる時期、クリームなどの高額商品が売れ始めると思うが、DMやニュースレター、SNSなどでの集客力のある店が伸びるのではないだろうか。</p>	化粧品小売業
	<p>「経営継続補助金」を利用した機械購入による売上はあるものの、病害虫の大量発生による稲の不作が影響して、顧客農家の購買意欲が減退し、売上も大幅に減少しているだけでなく、小規模農家は農業からの撤退も視野に入れており、今後益々厳しいことが予想される。</p>	農業用機械器具小売業

	売上は各店でミニ展示会等を行い、前年より少し増加の103%。	機械器具小売業
	GoTo 関連の資金注入で小売市場はやや動いた。しかし構造的に目詰まりを起している市場経済は好転も改善もなく、依然として厳しい状況が続いている。そんな中で各所の不正行為、また制度の未熟などが露呈され、マイナス基調のマインドにおいて不公平感が叫ばれている。「安全宣言」のような号令が掛からない限り、この疲弊した市況は回復しないと考えられるが、無謀な宣言は出せるはずもなく、まだ辛抱が続くことを予想しなくてはならない。また、公共団体が主宰する各地のイベントは、必要以上に開催を控える傾向が顕著で、市場原理に推された回復力を大きく妨げている。	各種商品小売業 岩国市
	商店街への来街者は、5月ほどではないが減少傾向が続いている。組合員への共通駐車サービス券の販売が減少している。10月より駐車料金を変更(30分100円→12時間最大500円)した「商店街応援キャンペーン」を実施している。	各種商品小売業 周南市
	少しずつ以前のような状態に戻りつつある。年末に向け、「応援キャンペーン事業」を利用してイベントを開催する予定であり、益々活気が出てくるのではないかと期待している。	各種商品小売業 下関市
商店街	待ち望んでいたスーパー出店により若干の人出の増加がみられるが、市政の中断による市街地計画の停滞により、先行きが不透明である。	宇部市
	コロナ禍の生活が落ち着きつつある。観光客、地元の人出があり、商店主からはイベントを行ってもいいのではという話も出てきている。売上は僅かに上がってきているようだが、なかなか元には戻らないのが実情である。県の商店街応援キャンペーン事業のイベントで商店街に来街してもらうことを期待している。	萩市
サービス業	10月は気候も良く、例年、美容室はゆっくりした時期である。今年は新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止となっているが、運動会などは時間短縮、観覧は父母のみ等の規制はあるが開催されている現状。また、GoTo トラベルなどで出かける人もいて、例年通りの業況だと思われる。	美容業
	景況感の好転は感じられず、低価格店にお客が流れているように思う。感染防止に最大限の取り組みを進めているが、感染リスクや不安感による消費の低迷により、収益の悪化等で先行きが不安である。	理容業

	近年、自動車整備士の人材確保が難しい状況になっている中、県内においても外国人技能実習生の採用を検討する事業所が徐々に増えてきている。今年も、新型コロナウイルスの影響で大手企業等が新卒採用を控える傾向にあることから、整備業界の人材を確保するには千載一遇のチャンスと捉えしっかり対応する必要がある。	自動車整備業
	新型コロナウイルスの影響下にある。まだ回復はしておらず、悪化して横ばいである。	スポーツ・健康教授業
	新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着き、消費者の動きも少しずつ戻ってきたお陰か、久しぶりに売上が前年同月比で同程度まで戻った。しかし、人々のライフスタイルはコロナ禍によって大きく変わり、今後コロナ前のように戻らないと思われるので、クリーニング業界としては新たな事業への取り組みも必要になってくると考える。	普通洗濯業
	個人客は少しずつだが戻ってきたように思われるが、団体客の予約は全くない状況が続いている。	飲食業
	秋の観光シーズンであるが、新型コロナウイルスの影響で、団体旅行・出張等の回復には至っておらず、JR券の売上は前年同月比▲80%の状態。	旅行業
	対前年同月比で、宿泊人員 99.4%、売上 102.9%と各種プレミアム宿泊券及び Goto キャンペーンの効果で回復基調。	旅館業 山口市
	施設ごとに差が生じている。高単価の施設は前年同月比で売上が増加しているが、ビジネスホテル業界はまだまだ伸び悩んでいる。低価格帯の家族経営の施設は、自粛時と変わらない状況が続いており、経費の掛かるGoTo トラベルの登録が難しく、やむを得ず諦めるところもあるようである。	旅館業 下関市
	飲食部門をテナントに変更して2か月が経過。浴場部門の一部で週休2日を継続している。給与及び管理費の削減を実施するも、売上高の減少も有り、資金繰りは好転せず。税金を含む公共料金の猶予を受けているが、年明けからの資金繰りは厳しい状況になると認識せざるを得ない。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請件 173 件（当支部 153 件）、前年同月 167 件（同 145 件）。太陽光発電への申請 35 件（前年 35 件）、オール電化申請 84 件（前年 99 件）。LED 街路灯への切り替え・新設申請 46 件（前年 21 件）であった。	電気工事業
	来春以降、新規工事の計画が減少すると予測される。	左官業

	<p>人材不足の中、年度当初受注工事を組合員で協力し忙しくしている。コロナ禍、採用を控える業界が多いと聞くが、当業界は継続して人材不足のままで、ハローワークで募集をしているが、問い合わせもなかなか無い。新型コロナウイルスの影響であったのか、民間の建築に関わる水道工事が減少していたが、10月下旬から少しずつ動き出している。</p>	管工事業
	<p>コロナ禍のため、例年より規模を縮小した技術研修会を開催したが、一人としてマスクを忘れた人はいなかった。新型コロナウイルスの収束は、未だ見通せない。こうした中で、GoTo トラベル、GoTo イートなどの景気浮揚策が展開されているが、事業規模他の原因で不公平感があると聞いている。今年度上期の景気動向で、新型コロナウイルスの影響は軽微としている分析報告もあるが、深刻な影響は、これから出るのではと予想している。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>10月の受注高は、対前年同月 156.8%。今年度の累計は、対前年比 89.3%。</p>	土木工事業 萩市
	<p>土木工事については、新型コロナウイルスの影響もなく、前年並みで推移。</p>	土木工事業 長門市
	<p>新築着工戸数が次第に減少してきており、コロナによる影響がジワリジワリと出てき始めたように思える。</p>	屋根工事業
	<p>経済活動の縮小により、工事の中止・延期が見られる。従来と比べて見積物件がかなり減少しており、来年以降の見通しが立たないとの声が多い。正確な情報収集と同業者間の関係作りが大切だと感じる。</p>	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	<p>輸送量は月半ばより、国内向けは横ばい、国外向けがやや増加傾向となったが、前年同月比では約20%のマイナス。未だに本格的な稼動は見られない。燃料費は前月と同額、変化はない。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>組合自体の売上は昨年並みだが、組合の輸送取扱高については未だ20%程度減少。一部大手荷主によっては昨年並みに回復したが、依然、見通しは暗いままである。燃料価格は前年比12%下がっている。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>物流としては、依然、ライフラインや食料品等の製造、輸送、保管案件が多い。特に保管部門では、ハロウィン関連物品等の季節物が多く動いている。これからクリスマス、年末年始商戦の物の動きが大きくなっていくことが予測される。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲36.2%（令和2年9月1日～令和2年10月20日分）。9月1日～30日分は▲36.9%、10月1日～20日分は▲35.3%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市，下松市，周南市，防府市の地域。9月分については、周南▲39.4%，下松▲49.5%，光▲36.8%，防府市地区が▲35.4%で、組合員の全域では▲39.9%、地区外（員外）+6.3%（山口地区早着化）、合計▲36.9% ▲6,902千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上がり（前月350.0\$/トンが今月367.5\$/トン、前年397.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油が下がり（前月380.0\$/トンが今月341.0\$/トン、前年458.0\$/トン）。為替は円高（前月107.05円/\$が106.76円/\$）。燃料単価は前月プラス1円/ℓ（+1.6%）となったが、前年10月より▲2円/ℓ（-3.1%）。（燃料の実価格は非公開）。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しており、人員不足で車両の稼働率も下がっている。新型コロナウイルスの影響で需要が減少しており、せっかくの運輸局認可車両台数だが、減車に踏み切る事業者も出てきた。現金利用の多い個人利用客はもう少し回復しているようだが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などを自粛しており、まだ前年比：▲36%。特に夜間の飲食関係はまだまだ時間がかかりそうに思われる。前月に比べ少し回復しているようにも思えるが、忘年会等で需要が増加していた年末は、前年同月比がたいへん厳しくなると予想される。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>7月から中国電力㈱の木質バイオマスペレットの取扱いを新たに始めたことにより、10月の取扱高も対前年比で若干増加しており、月の平均的な取扱高よりも上回っている。継続的取引であるため、今後も反映される。上記の貨物の取扱いが無い場合の10月の取扱高は、前年同月比で減少となる。</p>	港湾運送業
その他	<p>11月での入国が決定した。往来の再開もあり景気も回復しそうである。</p>	介護事業